

奄美群島振興開発アンケート調査

－来訪者へのアンケート調査結果－

令和4年9月

 鹿児島県

< 目 次 >

I. 調査概要	1
II. 調査結果	3
1. 回答者の属性	3
2. 集計結果	4
(1) 奄美群島への訪問目的について	4
(2) 奄美群島の魅力について	19
(3) 奄美群島で暮らすことについて	21
参考資料	
アンケート調査票	28

I. 調査概要

本調査の実施概要は以下のとおりとなっている。

□調査目的

奄美群島への来訪者が、奄美群島への訪問目的、奄美群島の魅力、奄美群島で暮らすことなどについてどのように考えているのかを把握することを目的とする。

□調査対象と回収状況

奄美群島への来訪者 500 名を対象とした。回収状況は 229 人で回収率は 45.8%となっている。

【配布数と回収状況】

単位：事業所、%

	発送数	回収数	Web	合計	合計回収率
奄美市	190	67		67	
大和村	10	9		9	
宇検村	10	2		2	
瀬戸内町	60	19		19	
龍郷町	20	18		18	
喜界町	40	19		19	
徳之島町	48	25		25	
天城町	20	8		8	
伊仙町	2	2		2	
和泊町	30	17		17	
知名町	30	5		5	
与論町	40	0		0	
合計	500	191	38	229	45.8

□調査方法

奄美群島内各宿泊所にてチェックイン時に配布、チェックアウト時及びインターネットによる回収。

□調査期間

令和 4 年 7 月中旬～8 月末。

□調査項目

調査項目については、以下のとおり。

【調査項目】

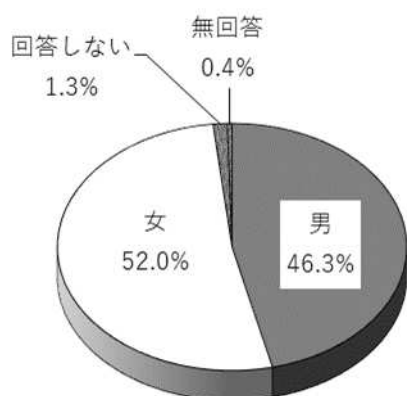
属性	性別、年齢、職業
A 奄美群島への訪問目的	問1 居住地 問2 同行者 問3 奄美群島の訪問回数 問4 奄美群島での滞在日数 問5 奄美群島を訪れた主な目的 問6 観光の主な目的 問7 今回奄美群島への旅行を決めたきっかけとなった情報源 問8 奄美群島への旅行を決めた後の情報収集手段
A 奄美群島への訪問目的(続き)	問9 観光の振興について (1) ハード整備に関して今後力を入れて欲しいこと (2) ソフト施策に関して今後力を入れて欲しいこと 問10 世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度 問11 奄美群島来訪前の島内の観光地や集落周辺における利用ルールやマナーについての調査の有無 問12 奄美群島の自然環境を保全するために来訪者が特に気を付けるべきこと 問13 奄美群島を訪れて困ったこと 問14 島外との航空交通について改善して欲しいこと 問15 今後の奄美群島への来訪意向
B 奄美群島の魅力	問16 奄美群島の魅力 問17 島外の人に島の魅力を知ってもらうために必要なこと
C 奄美群島で暮らすこと	問18 奄美群島での居住意向 問19 奄美群島で暮らすとした場合、最も気になること 問20 奄美群島の新たな可能性や今後伸ばすべき点等に関する意見

II. 調査結果

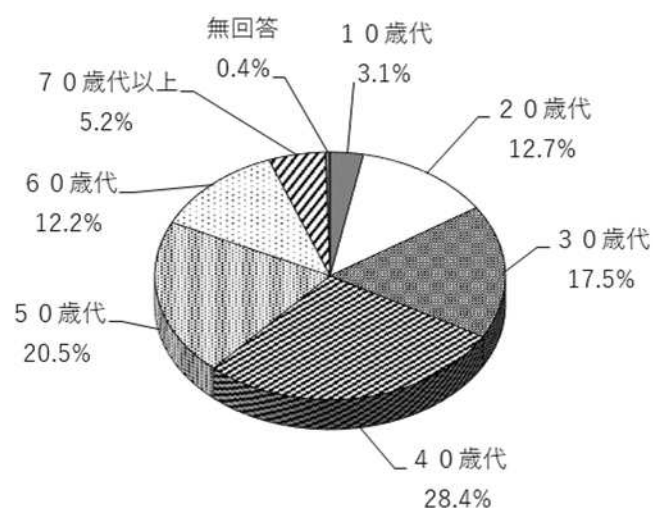
1. 回答者の属性

回答者 229 人の属性は、以下のとおりとなっている。

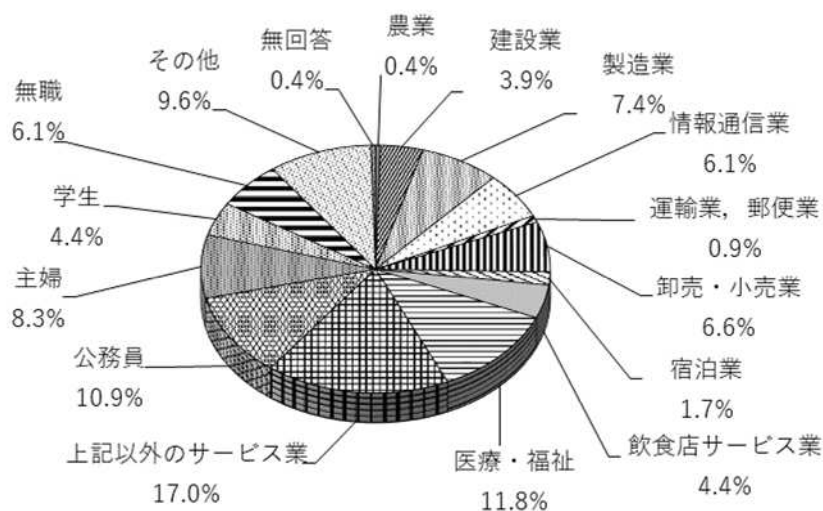
【性別 (N=229)】



【年齢 (N=229)】



【職業 (N=229)】



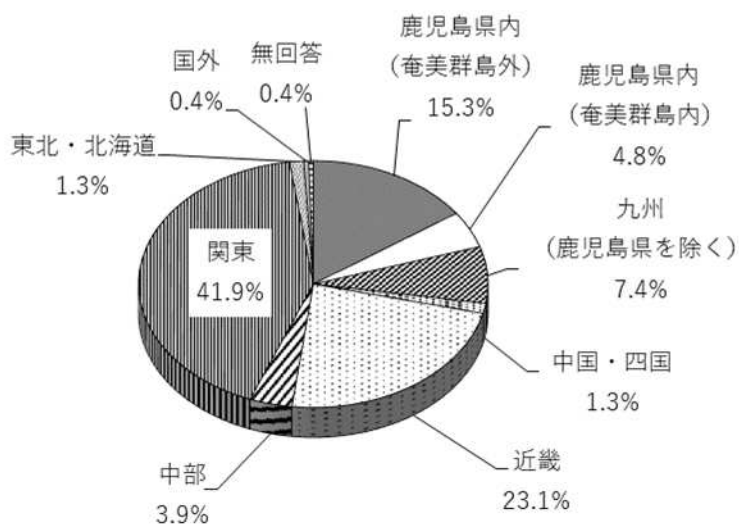
2. 集計結果

(1) 奄美群島への訪問目的について

① 居住地

居住地については、「関東」が41.9%で約4割を占め最も多く、次いで「近畿」(23.1%)、「鹿児島県内(奄美群島外)」(15.3%)などとなっている。

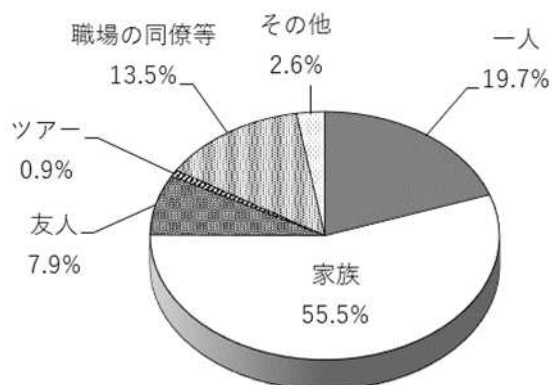
【居住地 (N=229)】



② 同行者

同行者については、「家族」が55.5%で半数を超え最も多く、次いで「一人」(19.7%)、「職場の同僚等」(13.5%)などとなっている。

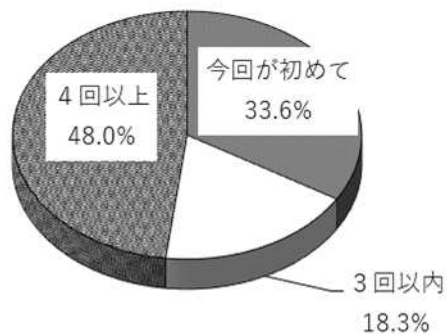
【同行者 (N=229)】



③ 奄美群島の訪問回数

奄美群島の訪問回数については、「4回以上」が48.0%で約5割を占め最も多く、次いで「今回が初めて」(33.6%)、「3回以内」(18.3%)となっている。

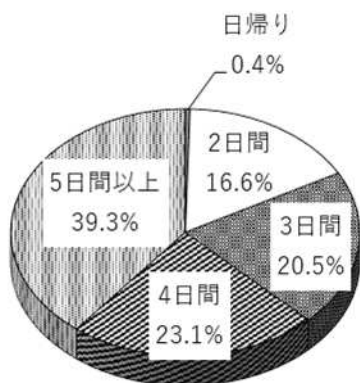
【奄美群島の訪問回数 (N=229)】



④ 奄美群島での滞在日数

奄美群島での滞在日数については、「5日間以上」が39.3%で約4割を占め最も多く、次いで「4日間」(23.1%)、「3日間」(20.5%)などとなっている。

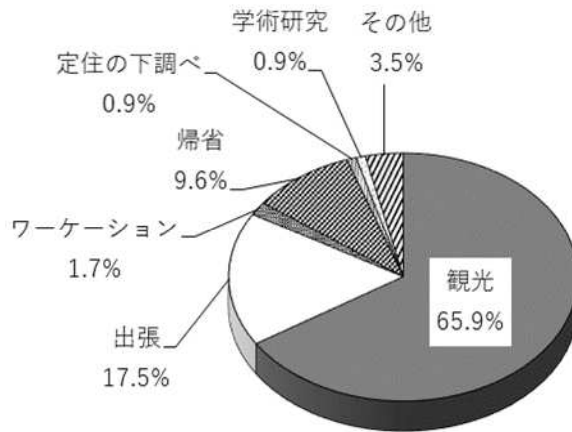
【奄美群島での滞在日数 (N=229)】



⑤ 奄美群島を訪れた主な目的

奄美群島を訪れた主な目的については、「観光」が 65.9%で最も多く、次いで「出張」(17.5%)、「帰省」(9.6%) などとなっている。

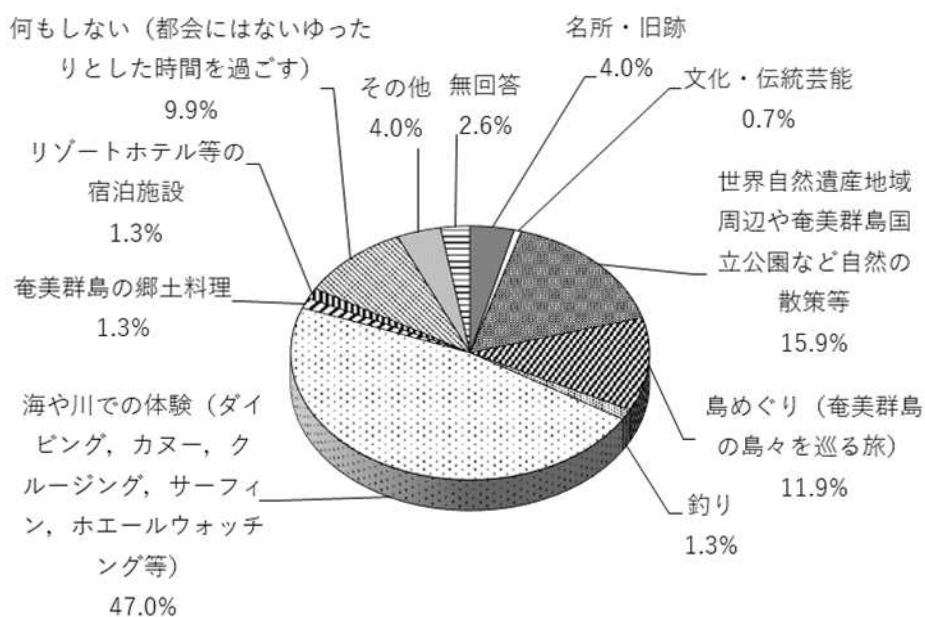
【奄美群島を訪れた主な目的 (N=229)】



⑥ 観光の主な目的

観光の主な目的については、「海や川での体験 (ダイビング, カヌー, クルージング, サーフィン, ホエールウォッチング等)」が 47.0%で約 5 割を占め最も多く、次いで「世界自然遺産地域周辺や奄美群島国立公園など自然の散策等」(15.9%)、「島めぐり (奄美群島の島々を巡る旅)」(11.9%) などとなっている。

【観光の主な目的 (N=151)】

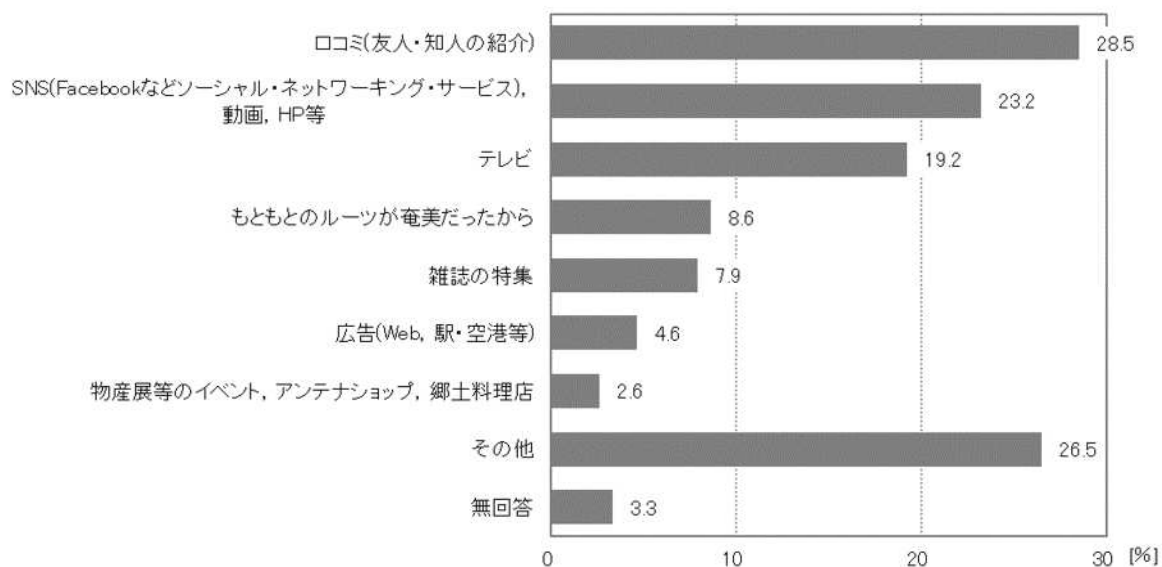


⑦ 今回奄美群島への旅行を決めたきっかけとなった情報源

今回奄美群島への旅行を決めたきっかけとなった情報源については、「口コミ(友人・知人の紹介)」が28.5%で最も多く、次いで「SNS(Facebookなどソーシャル・ネットワーキング・サービス)、動画、HP等」(23.2%)、「テレビ」(19.2%)などとなっている。

なお「その他」については、「ツアー会社のパンフレット」や「以前来島し、とても良い島だったから」、「以前住んでいたから」、「友人・家族がいるから」等が挙げられている。

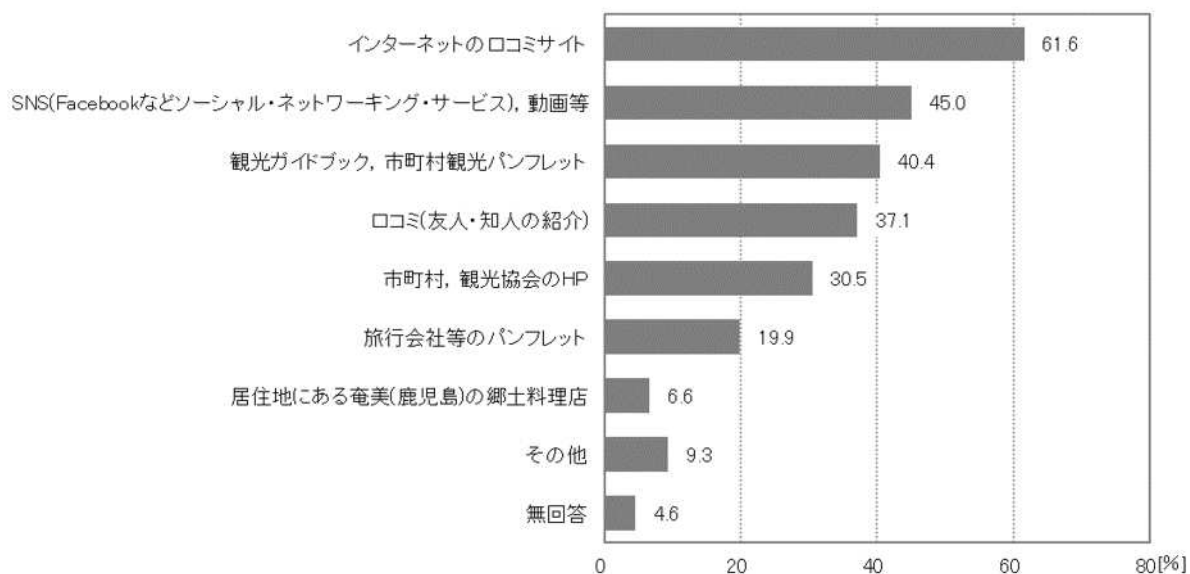
【今回奄美群島への旅行を決めたきっかけとなった情報源 (N=151)】



⑧ 奄美群島への旅行を決めた後の情報収集手段

奄美群島への旅行を決めた後の情報収集手段については、「インターネットの口コミサイト」が61.6%で最も多く、次いで「SNS(Facebook などソーシャル・ネットワーキング・サービス), 動画等」(45.0%)、「観光ガイドブック, 市町村観光パンフレット」(40.4%)、「口コミ(友人・知人の紹介)」(37.1%) などとなっている。

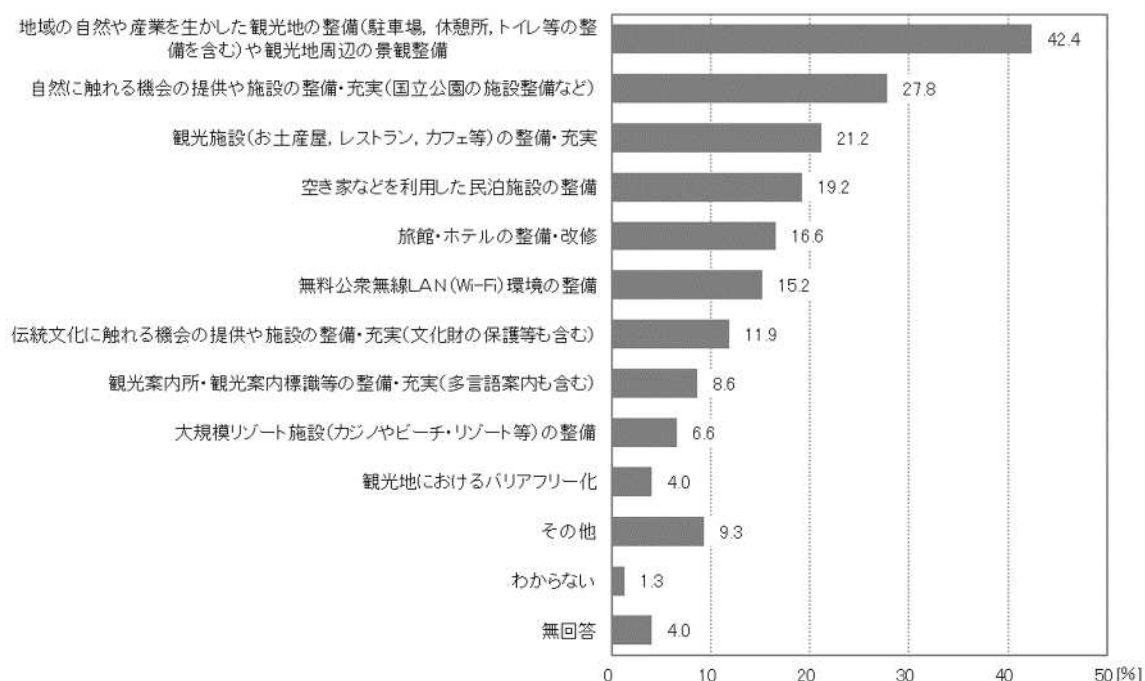
【奄美群島への旅行を決めた後の情報収集手段 (N = 151)】



⑨ 観光の振興におけるハード整備に関して今後力を入れて欲しいこと

観光の振興におけるハード整備に関して今後力を入れて欲しいことについては、「地域の自然や産業を生かした観光地の整備（駐車場、休憩所、トイレ等の整備を含む）や観光地周辺の景観整備」が 42.4%で最も多く、次いで「自然に触れる機会の提供や施設の整備・充実（国立公園の施設整備など）」（27.8%）、「観光施設（お土産屋、レストラン、カフェ等）の整備・充実」（21.2%）、「空き家などを利用した民泊施設の整備」（19.2%）などとなっている。

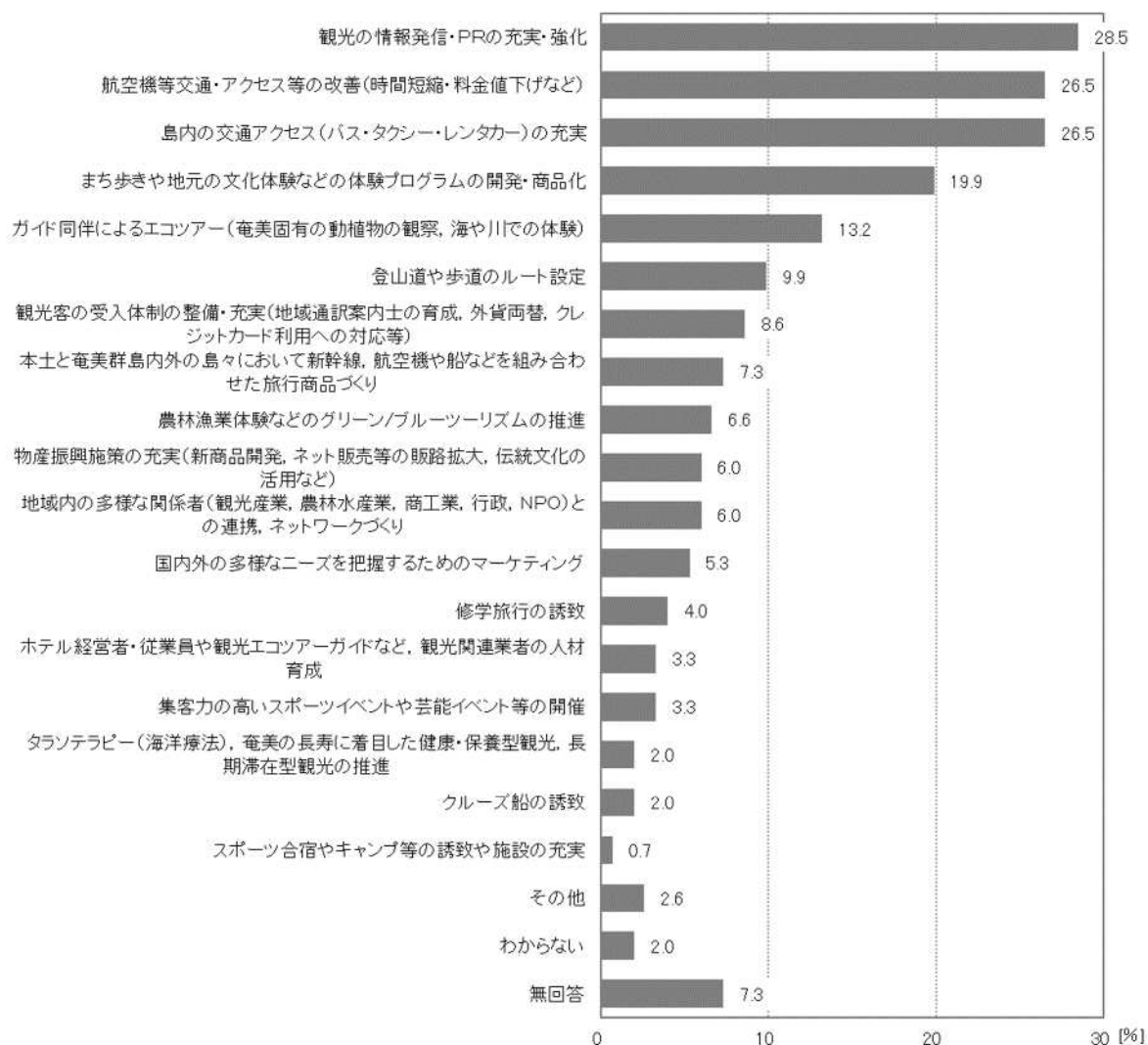
【観光の振興におけるハード整備に関して今後力を入れて欲しいこと（N=151）】



⑩ 観光の振興におけるソフト施策に関して今後力を入れて欲しいこと

観光の振興におけるソフト施策に関して今後力を入れて欲しいことについては、「観光の情報発信・PRの充実・強化」が28.5%で最も多く、次いで「航空機等交通・アクセス等の改善（時間短縮・料金値下げなど）」と「島内の交通アクセス（バス・タクシー・レンタカー）の充実」（ともに26.5%）、「まち歩きや地元の文化体験などの体験プログラムの開発・商品化」（19.9%）などとなっている。

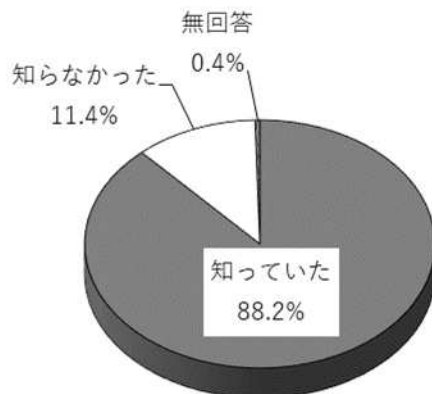
【観光の振興におけるソフト施策に関して今後力を入れて欲しいこと（N=151）】



⑪ 世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度

世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度は、「知っていた」が88.2%で約9割を占め、「知らなかった」は11.4%にとどまっている。

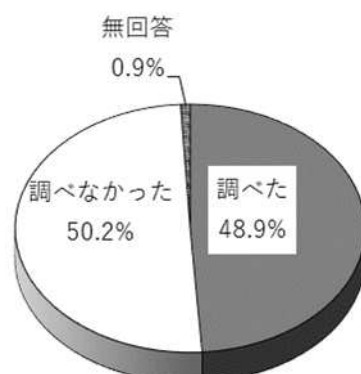
【世界自然遺産の4地域が生物多様性を保全していく上で重要な地域であることについての認知度 (N=229)】



⑫ 奄美群島来訪前の島内の観光地や集落周辺における利用ルールやマナーについての調査の有無

奄美群島来訪前の、島内の観光地や集落周辺における利用ルールやマナーについての調査の有無は、「調べた」が48.9%、「調べなかった」が50.2%となっている。

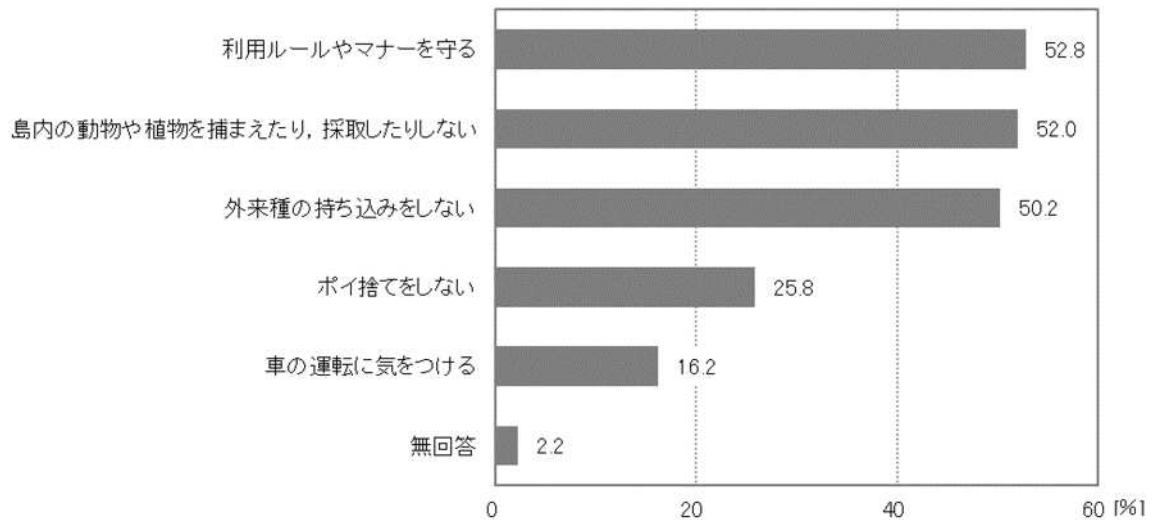
【奄美群島来訪前の島内の観光地や集落周辺における利用ルールやマナーについての調査の有無 (N=229)】



⑬ 奄美群島の自然環境を保全するために来訪者が特に気を付けるべきこと

奄美群島の自然環境を保全するために来訪者が特に気を付けるべきことについては、「利用ルールやマナーを守る」が 52.8%で最も多く、次いで「島内の動物や植物を捕まえたり、採取したりしない」(52.0%)、「外来種の持ち込みをしない」(50.2%) などとなっている。

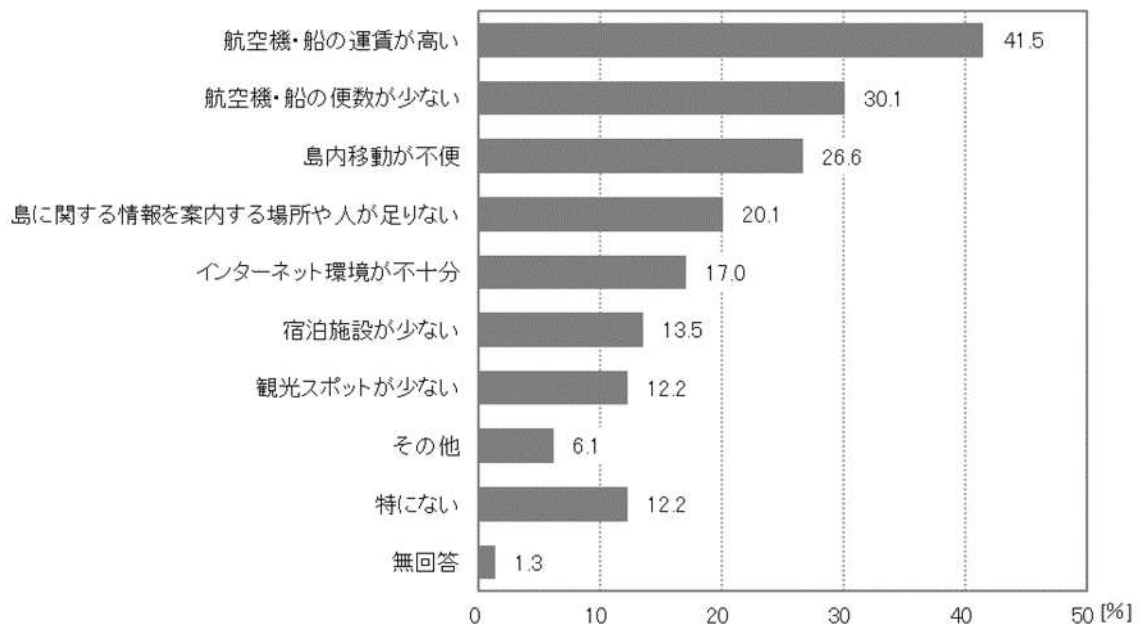
【奄美群島の自然環境を保全するために来訪者が特に気を付けるべきこと (N=229)】



⑭ 奄美群島を訪れて困ったこと

奄美群島を訪れて困ったことについては、「航空機・船の運賃が高い」が41.5%で最も多く、次いで「航空機・船の便数が少ない」(30.1%)、「島内移動が不便」(26.6%)、「島に関する情報を案内する場所や人が足りない」(20.1%)などとなっている。

【奄美群島を訪れて困ったこと (N=229)】



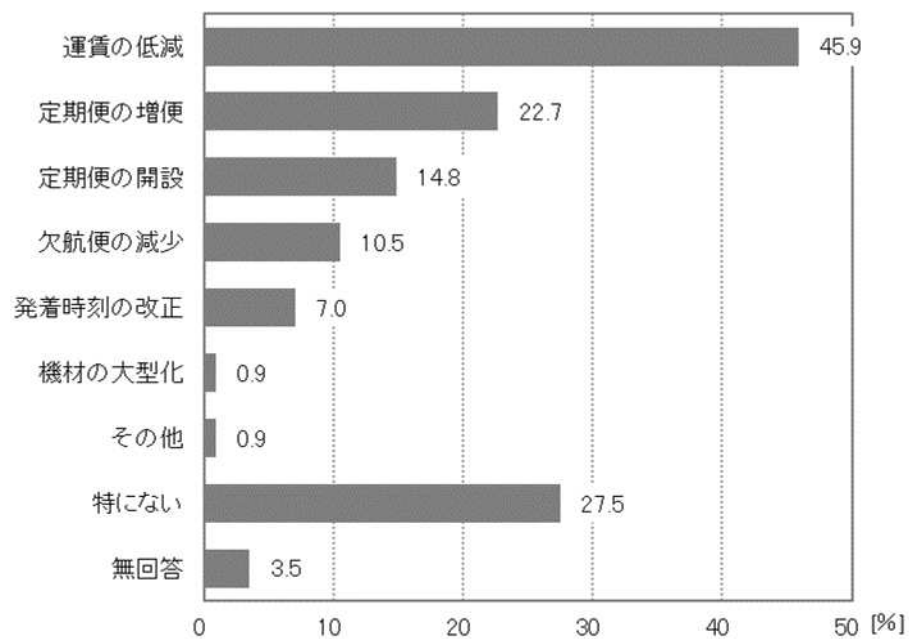
⑮ 島外との航空交通について改善して欲しいこと

① 島外との航空交通について改善して欲しいこと

島外との航空交通について改善して欲しいことについては、「運賃の低減」が45.9%で最も多く、次いで「定期便の増便」(22.7%)、「定期便の開設」(14.8%)などとなっている。

なお、「特にない」についても27.5%と約3割を占めている。

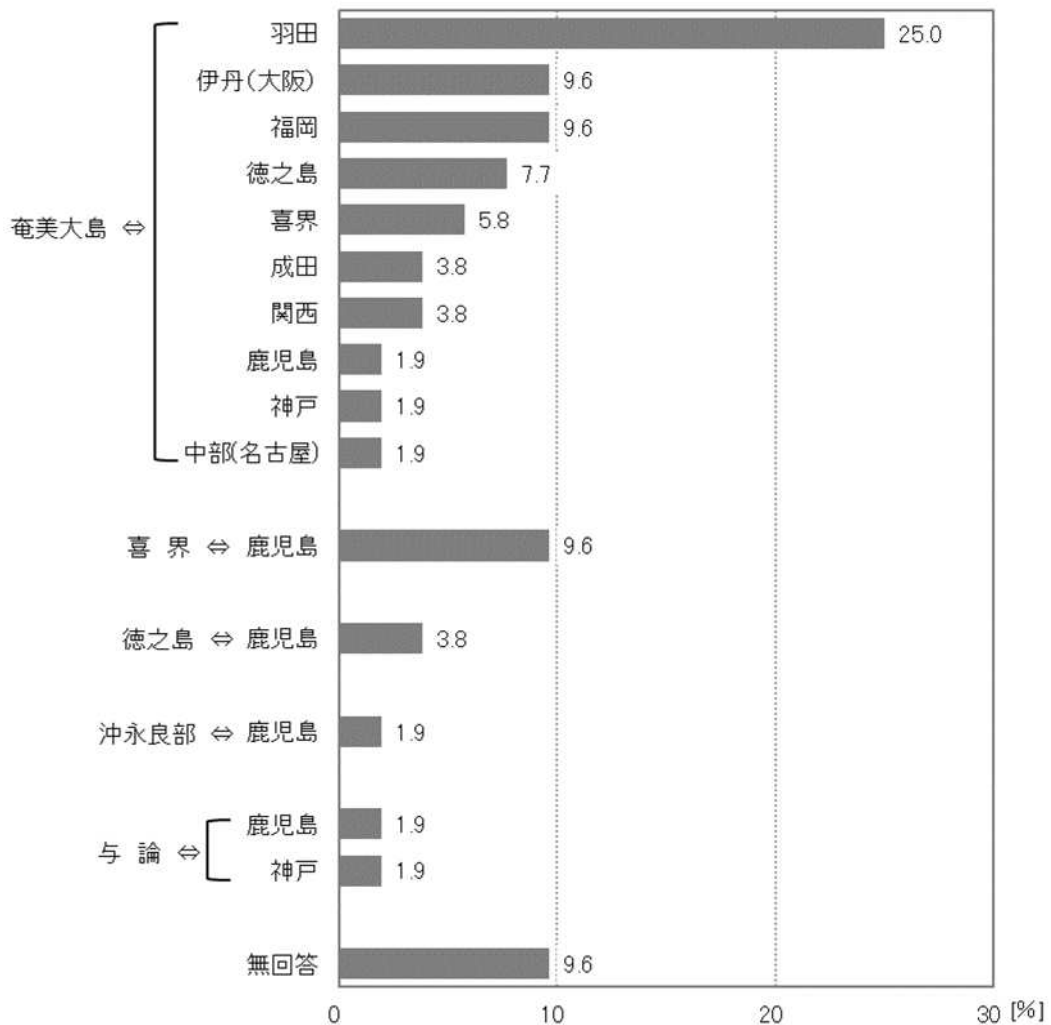
【島外との航空交通について改善して欲しいこと (N=229)】



②定期便の増便について

定期便の増便の回答内容についてみると、「奄美大島」と「羽田」間の定期便の増便を望む声が最も多くなっており、次いで「奄美大島」と「伊丹(大阪)」間、「奄美大島」と「福岡」間、「喜界」と「鹿児島」間などとなっている。

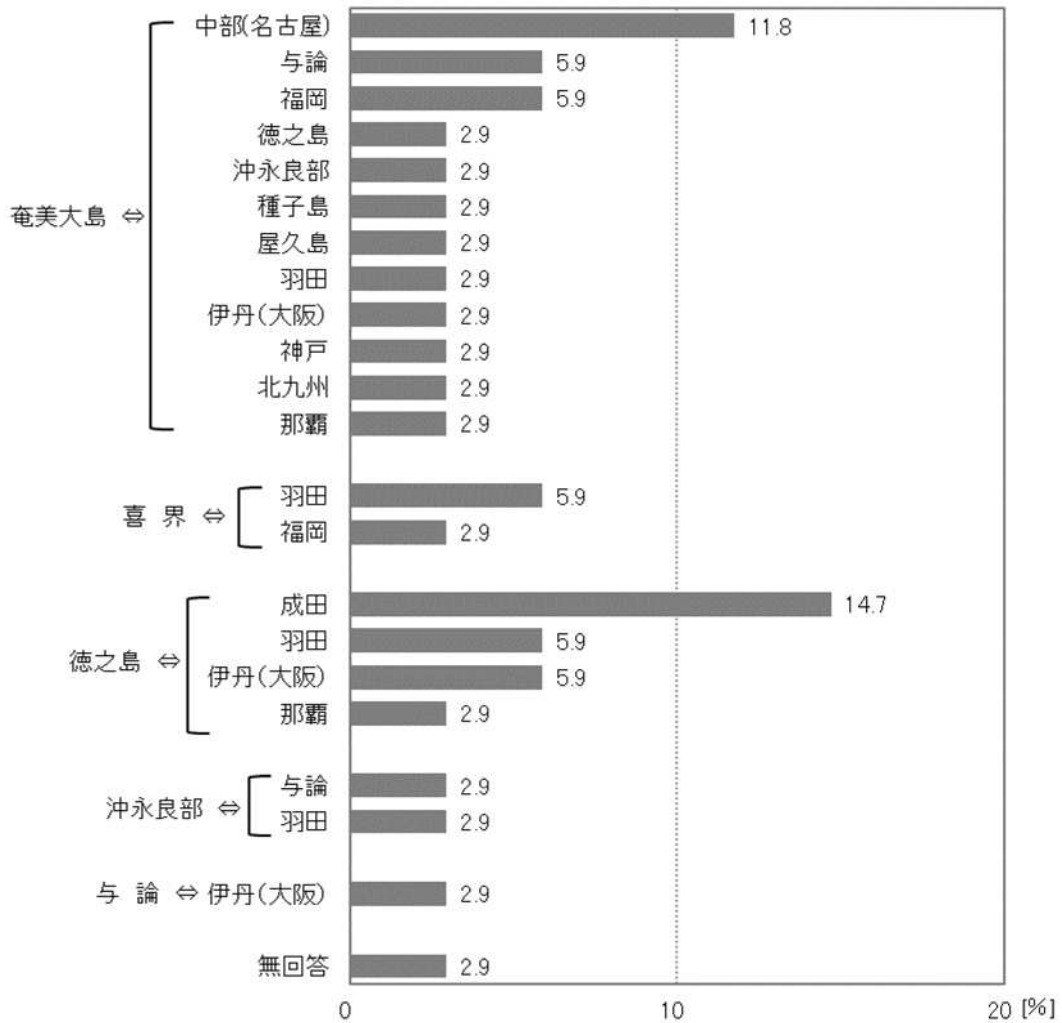
【定期便の増便 (N=52)】



③定期便の開設について

定期便の開設の回答内容についてみると、「徳之島」と「成田」間の定期便の開設を望む声が最も多くなっており、次いで「奄美大島」と「中部（名古屋）」間となっている。

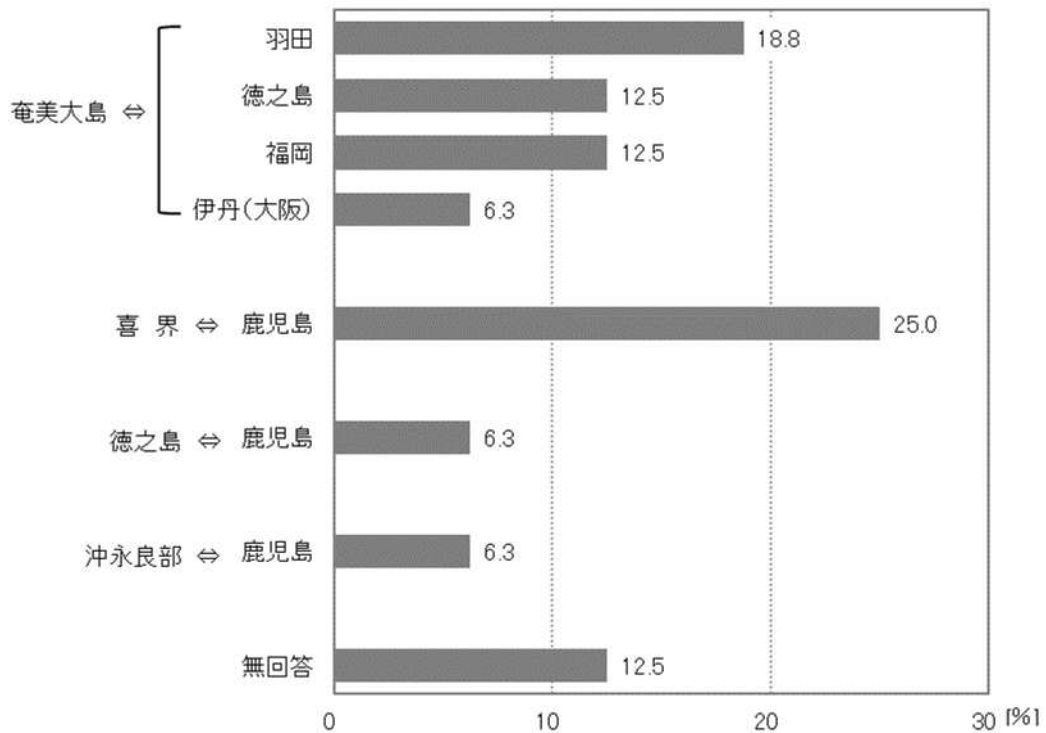
【定期便の開設（N=34）】



④発着時刻の改正について

発着時刻の改正の回答内容についてみると、「喜界」・「鹿児島」線の発着時刻の改正を望む声が最も多く、次いで「奄美大島」・「羽田」線となっている。

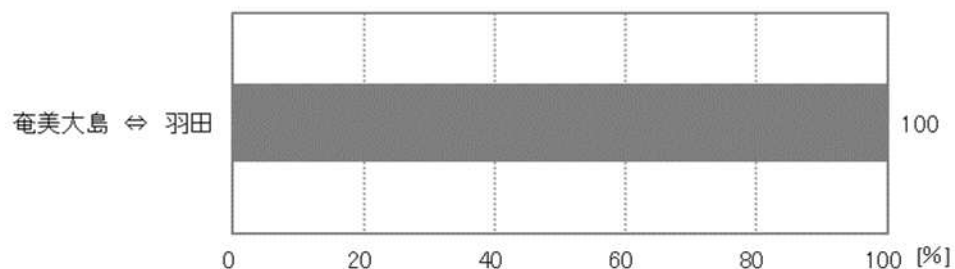
【発着時刻の改正 (N=16)】



⑤機材の大型化について

機材の大型化の回答内容についてみると、「奄美大島」・「羽田」線の機材の大型化を望む声が挙がっている。

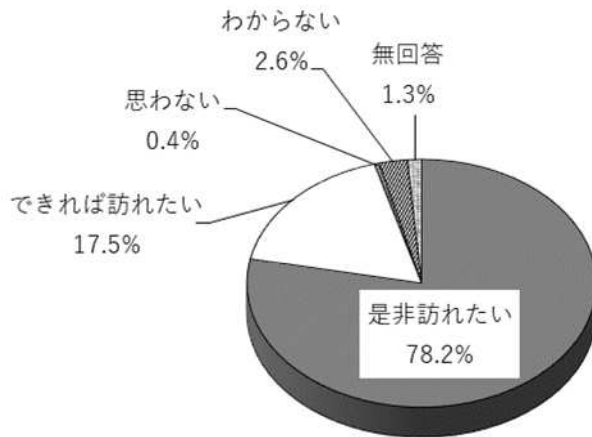
【機材の大型化 (N=2)】



⑩ 今後の奄美群島への来訪意向

今後の奄美群島への来訪意向については、『訪れたい』（「是非訪れたい」と「できれば訪れたい」の合計）が95.7%と9割以上を占めており、「思わない」（0.4%）を大きく上回っている。

【今後の奄美群島への来訪意向（N=229）】

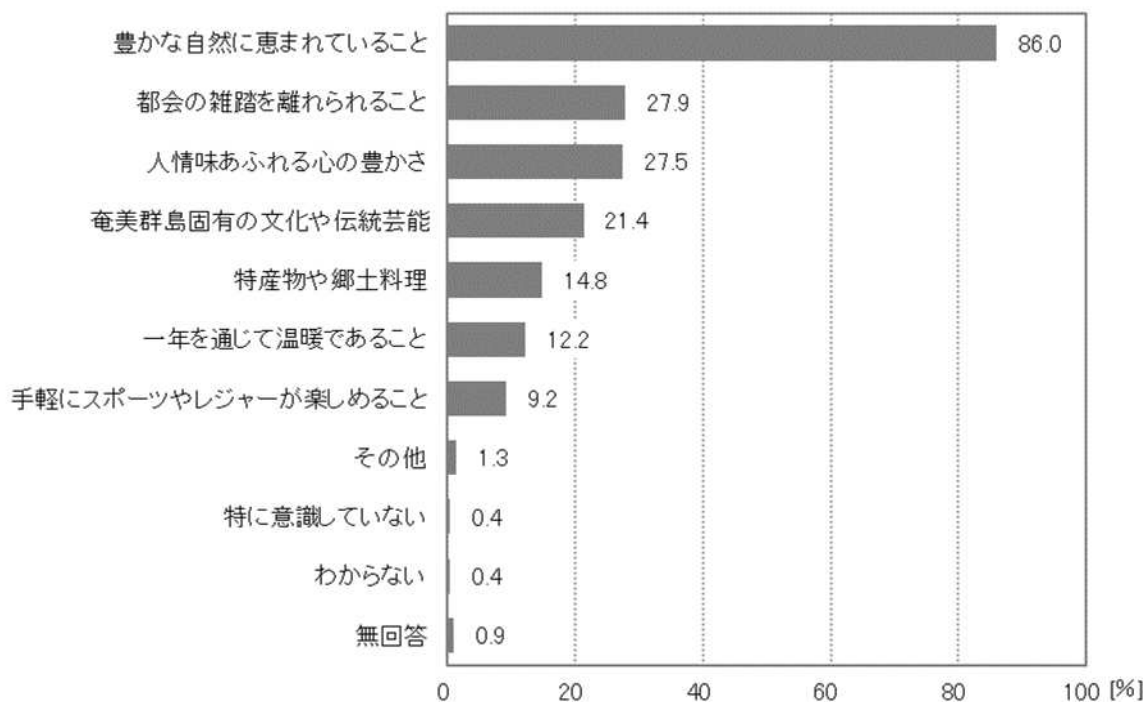


(2) 奄美群島の魅力について

① 奄美群島の魅力

奄美群島の魅力については、「豊かな自然に恵まれていること」が86.0%で8割以上を占め突出して最も多く、次いで「都会の雑踏を離れられること」(27.9%)、「人情味あふれる心の豊かさ」(27.5%) などとなっている。

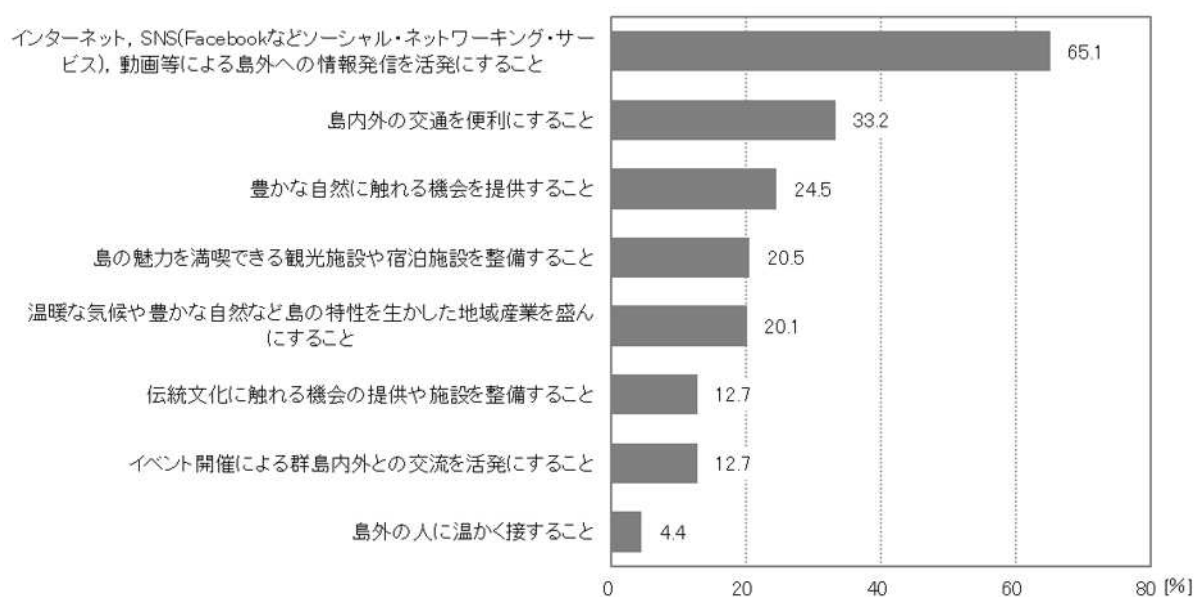
【奄美群島の魅力 (N=229)】



② 島外の人に島の魅力を知ってもらうために必要なこと

島外の人に島の魅力を知ってもらうために必要なことについては、「インターネット、SNS(Facebook などソーシャル・ネットワーキング・サービス)、動画等による島外への情報発信を活発にすること」が 65.1%で最も多く、次いで「島内外の交通を便利にすること」(33.2%)、「豊かな自然に触れる機会を提供すること」(24.5%)、「島の魅力を満喫できる観光施設や宿泊施設を整備すること」(20.5%)などとなっている。

【島外の人に島の魅力を知ってもらうために必要なこと (N=229)】

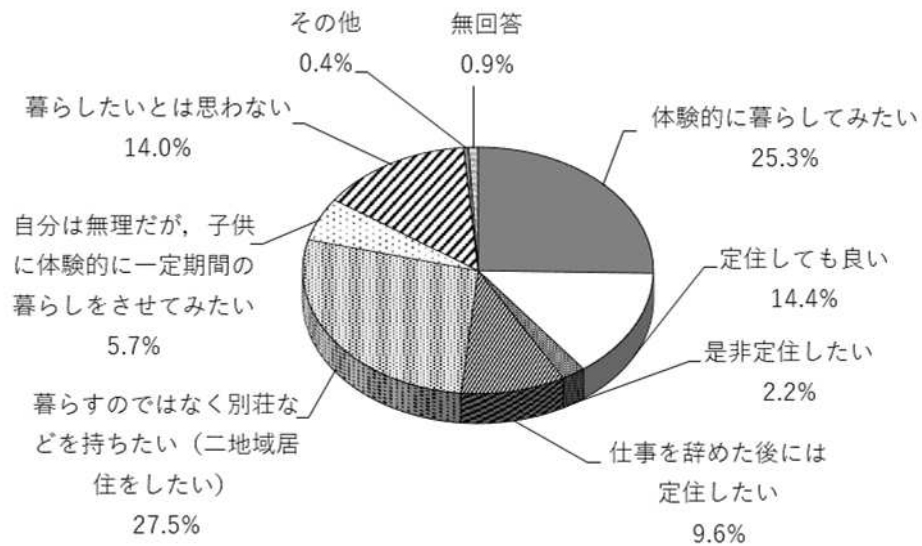


(3) 奄美群島で暮らすことについて

① 奄美群島での居留意向

奄美群島での居留意向については、「暮らすのではなく別荘などを持ちたい（二地域居住をしたい）」が27.5%で最も多く、次いで「体験的に暮らしてみたい」（25.3%）、「定住しても良い」（14.4%）などとなっている。

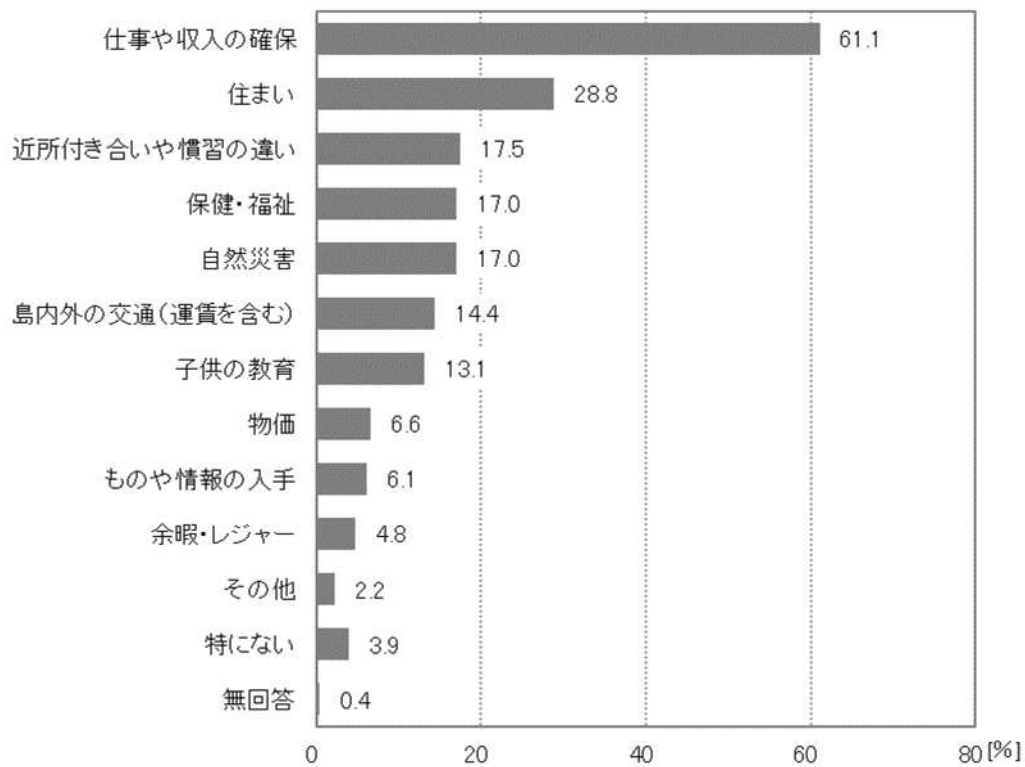
【奄美群島での居留意向（N=229）】



② 奄美群島で暮らすとした場合、最も気になること

奄美群島で暮らすとした場合、最も気になることについては、「仕事や収入の確保」が61.1%で突出して最も多く、次いで「住まい」(28.8%)、「近所付き合いや慣習の違い」(17.5%)などとなっている。

【奄美群島で暮らすとした場合、最も気になること (N=229)】

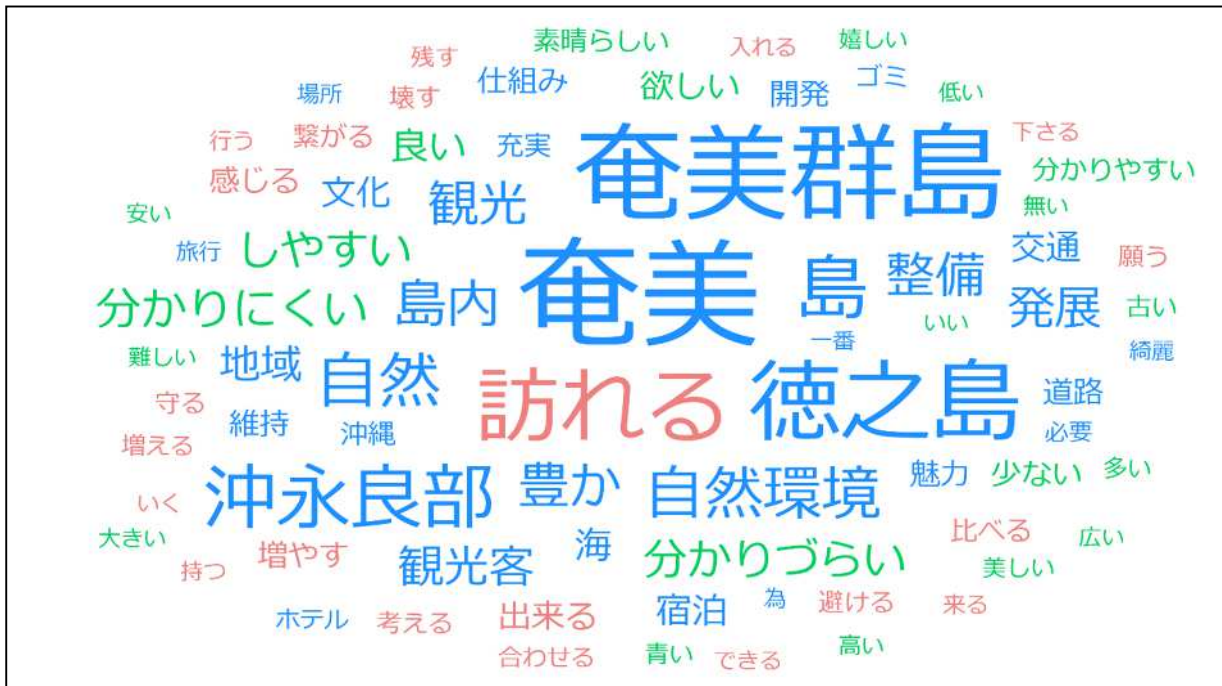


③ 奄美群島の新たな可能性や今後の伸ばすべき点等に関する意見

奄美群島の新たな可能性や今後の伸ばすべき点等に関する意見として、以下のことなどが挙げられている。

【奄美群島の新たな可能性や今後の伸ばすべき点等に関する意見】

○テキストマイニングによる分析結果（ワードクラウド）



注1：ワードクラウドは、スコアが高い言葉を選び出し、その値に応じた大きさに図示したもの。名詞は青色、動詞は赤色、形容詞は緑色。

注2：スコアとは文章の中でどれだけ特徴的かを点数化したもの。通常は単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」等のような種類の文章にも現れる単語はスコアが低めになる。

ツール：ユーザーローカル テキストマイニングツール（<http://textmining.userlocal.jp/>）

○具体的な意見

- ・徳之島の脇道の道路幅が狭いので広げた方が良くと思う（男、50歳代、東北・北海道）。
- ・綺麗な海、自然を維持して欲しい（男、40歳代、中部）。
- ・奄美群島の中でも特に徳之島の情報入手が困難でした。ガイドブック、SNS等での発信がもう少しあっても良いのではと思います（男、50歳代、中部）。
- ・子育てしやすい環境を整備する。あまりリゾート開発して欲しくない。自然のままが良い（男、50歳代、中部）。
- ・固有の文化（自然を含む）を維持する事（男、70歳代以上、中部）。
- ・各島々をもう少し気楽に周遊出来る様な交通の工夫（時間、料金など）が出来れば、色々な島に訪れてみたい（女、60歳代、中部）。
- ・群島内に住んで居ます。沖永良部には月に1回出張で来ています。出張なので離島割が使えますが、やはり通常料金は高く、観光の方が来るにはハードルが高いと思います（女、40歳代、鹿児島県内（奄美群島内））。
- ・交通インフラをもっと改善すべき（定期バス、道路等）（男、30歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・観光施設よりも島の魅力を満喫できる宿泊施設が必要だと思う。そのような宿泊施設を増やすことで島の魅力が増し、人が引き付けられ、人口増加（定住者増加）に繋がると思います（男、30歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。

○具体的な意見（続き）

- ・日本全国的な傾向だと思うが、都市部に比べて子供の学力が低い。周りの子供が勉強する意識があるかは子を持つ親としては気になる。自然の中で育てたいと思うが、学力や視野の広さも大事と考えている（男、40歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・インフラ整備を今後も続けて欲しい（男、40歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・現在の在り方で満足です。島外の人を呼び込む力があると思う。島民で出来ることを一生懸命やる姿は好感度を上げると思う。素直が一番です（男、40歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・どの島も宿泊施設が少ないので増やして欲しい（男、40歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・理想的な未来をイメージした時にどう行動するか考える必要がある。ただ、単に経済的な利益でなく、理想的な未来とは人々が幸せに暮らせる事が出来る場所があること。人々が幸せに暮らせる場所とは人間関係、自然、SDGs、人と人が寄り添い自然とも共存できる所なので、その環境づくりが一番大事です。お金の心配をせずに生活出来る社会を作っていく事、地域地域で叶えられる仕組みを作る事など、奄美はそれらを出る可能性を持っている。何故なら人も良いし、自然豊かであるから。その点をもっと世界に広めていく必要がある（男、50歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・奄美群島の素晴らしい農作物などの素材を活かした産業復興は、もっと拡大する事が可能だと思う。その為には負担が大きい輸送コストの削減への対策が必要である（男、60歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・残すべきところは島民の皆さんの考え。私には観光慣れしていない喜界島が好きです。昔のキャッチフレーズの「素朴な島」で良い気がする。大島、徳之島などは世界自然遺産ブームで一定の増加があるだろうが、ブームで終わるとその後は推して知るべし。長期的視野で施策を考える事が大事なと思う（男、60歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・空港の整備が必要。大きく広げるべき（男、60歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・観光スポットの整備。空港待合所の整備（喜界、沖永良部、与論）（男、60歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・交通費の低減、奄美空港と那覇空港の直行便の運航を検討して欲しい（男、60歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・自然も人情も豊かな土地。古くからの伝統や魅力を失わないまま発展して欲しい。交通アクセスと認知度の低さが課題だと思うが、島の生活を尊重できる観光客を招き入れるべきだと思う（女、20歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・雨天で予定していたレジャーが出来なかった際、室内でも奄美を感じる事が出来る施設が増えたら良いと思います（女、30歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・今回子供達に青く綺麗な海を見せたくて旅行を決めました。直前になり、ずっと旅行当日の天気が雨である事を気にしてキャンセルを考えてしまったので、精度の高い天気予報が広まれば天気の変わりやすさを理解し、キャンセルも減ると思いました。あと雨の日の楽しみ方をもっと広めて欲しいと思いました。結果曇りだったので来島し、本来の目的は達成できたので良かったです（女、40歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・子供が小学生の頃から夏に訪れていて回数ももう10回を超えます。自然豊かで人は優しく親切で、初めて訪れた時から島の虜となりました。世界自然遺産の登録と共に観光客が増え、島の発展の為より良い機会を迎え入れたと同時に、今まで保持してきた美しい自然が壊される事のないよう、島に暮らす人、訪れる人が協力して取り組んでいけたら良いと思います（女、50歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・島外在住シマ出身者との連携（女、50歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・奄美群島にはそれぞれの素晴らしい文化・伝統等があり、それを維持、継承することに勤めておられることと思いますが、一方で多くの貴重な事柄が埋没されつつあるとも思います（例：芭蕉布等）。それらに着目し、復元し、後継者育成等の取り組みがもっと気軽に出来る様になるといいのかなと思います（難しいと思いますが）（女、60歳代、鹿児島県内（奄美群島外））。
- ・沖永良部は海の豊かさ（綺麗さ）をもっとアピールしても良いと思う。徳之島はもう少し宿泊施設が増えたら滞在しやすい。沖永良部、徳之島は島内移動用バスが充実すると観光しやすい。奄美は自然の豊かさがあるので、リゾート開発はほらないと思う（出来ればリゾート開発して欲しくない）（男、30歳代、九州（鹿児島県を除く））。

○具体的な意見（続き）

- ・奄美群島独自の文化、豊かな自然環境を維持しつつ、SDGs の観点を取り入れたグリーンツーリズムを推進出来ると良いかと考えます。他方、一次産業としても、お土産だけでなく生活基盤を支える主食になるもの等の栽培も拡大していく事。ブランド化、高付加価値化すること等での改善が望ましいと考えます（男、30歳代、九州（鹿児島県を除く））。
- ・人が良いと思います（女、40歳代、九州（鹿児島県を除く））。
- ・5島を巡りましたが、良いところばかりでした（特に人）。また観光に来たいし、機会があればワーケーション等でも来たいと思いました（女、40歳代、九州（鹿児島県を除く））。
- ・ダイビングで沖縄などの離島を訪れますが、観光に力を入れた事で宿泊が不足したり、ご飯が食べれなかったりする事があります（宮古島など）。徳之島が同じようになる事は避けて欲しいです。あと、駐車場が分かりにくかったです。阿権集落やソテツトンネル付近の駐車場が分かりやすいと嬉しいです（男、40歳代、近畿）。
- ・道路の整備でスムーズに移動できるようにして欲しい。飛行機の価格を下げればもっと人は来ると思う（男、40歳代、近畿）。
- ・とても素晴らしい場所が多く驚いた（男、40歳代、近畿）。
- ・観光に力を入れて入れながらも、沖縄のように観光のために自然や地域文化を犠牲にして欲しくない。奄美は今の奄美のままで良いのかもしれないとも思います（男、50歳代、近畿）。
- ・自然が多いのは大変嬉しいが、夜の街灯が少なく店が分かりにくい。観光スポットの目印をハッキリさせて、この場所はこの店があるなど一度に見られる掲示板を夜でも見ることが出来ればいいかなと思います。交通が不便と言ってもそれは大自然の豊かさゆえです。自然を壊すことなく、「不便が心を豊かにする」事を都会の方も理解する方向へ持っていけば良いと考えます。奄美群島へ来るのはまだ数回ですが、何よりも自然環境に心も体も満たされました。また来たいと思います（女、50歳代、近畿）。
- ・〇〇海岸と表示があり気になったので行ってみたらすごく綺麗だったが、プライベートビーチ（ホテル用）みたいになっていて近づくことが出来なかった。プライベートビーチなら、看板を表示しないで欲しい。それか、プライベートビーチである事を表示して欲しい（女、50歳代、近畿）。
- ・加計呂麻島に行きましたが、土産物屋やカフェが無くて残念でした。のんびり宿泊できる宿もあれば良いと思います。でも開発されて自然が壊されても困ります。難しい問題です。奄美の美しい海、山は大切な自然遺産です。どうぞいつまでも守って下さい（女、70歳代以上、近畿）。
- ・高級路線の旅プラン（世界遺産+闘牛+フェリー旅など）の導入を検討してはどうか（男、20歳代、関東）。
- ・空港から名瀬や、名瀬から古仁屋、古仁屋から加計呂麻の接続があまり良くないと思います。もっと、乗り継ぎをしやすくしたり、本数を増やしたりして欲しい。例えば、夏やオーエールスイム期間だけでも検討して頂きたいです（男、20歳代、関東）。
- ・奄美旅行を考えた際、一番に「夏」が浮かぶ人が多いと感じます。観光シーズンが限定されず春夏秋冬いつでも楽しめるといったイメージの定着をすることが出来れば、地域の活性化に繋がるのではないかと感じました。1～3月はホエールウォッチングなど四季折々の良さを伝えていくと良いのでは（男、20歳代、関東）。
- ・私の生まれ育った地域でも奄美と同じように地域格差があり、社会の中で循環する仕組みがありました。おすそ分け、地産地消、地域農業にIT技術を取り入れ、群の中で循環させる仕組みがあると関東出身者などもやりがいを持って取り組まれるようになるかもしれないと思いました。地域外の者の意見ですので、現地の状況に合わせた活性化が行われる事を願っています（男、30歳代、関東）。
- ・個人的には外国人観光客にあまり知られていないので、穏やかにのんびり過ごす事が出来て大変良いと思います。島内の交通がもう少し便が良いと助かります（男、30歳代、関東）。
- ・自然遺産指定によって地域が置き去りになっていないだろうか。持続可能性を高めるためには地域との密接な協力体制が不可欠で、難しいとは思いますが国と方向性を擦り合わせた方が良いと感じた（男、30歳代、関東）。
- ・観光名所なのに標識が少なく、迷いやすい（男、40歳代、関東）。

○具体的な意見（続き）

- ・ CM を流して多くの旅行者を呼ぶことは、ゴミやマナーの悪化等の問題が出てくるので、長期的な島の発展には繋がらないのではないかと思います。ゴミ拾い等自然環境についての教育的なプログラムをツアーに組み込む等で、島の文化や自然の大切さを分かっている旅行者を増やすことが長期的な島の発展に繋がるのではないかと。マナーの良いリピーターを増やす取り組みをするべきだと思います。例えば、小・中学校の修学旅行で自然環境保護を体験できる教育的なツアーを行えば、その子達が大人になって奄美を再訪する時にいいのではないかと思います（男、40 歳代、関東）。
- ・ 島内の移動手段が充実されると良いと思います（過剰な開発は避けつつも）。また、美と健康と食と宿泊が上手く組み合わせられると、長期宿泊者が増え島活性化にも繋がると思います（男、50 歳代、関東）。
- ・ 携帯電波が入らないところばかり（男、50 歳代、関東）。
- ・ 関東から来る者にとって、磯で蛍光色の小魚が見られることはとても楽しいです。しかし、景勝地やそこへ向かう道路の雑草が気になります（男、60 歳代、関東）。
- ・ マリンレジャーの充実、ハブの捕獲、宿泊代と東京からの直行便と、旅費の補助金を是非実現して下さい（男、70 歳代以上、関東）。
- ・ 会計時、現金のみ使用可のお店が多いと感じた為、ローカルなお店も含めて電子マネーやクレジットカード、QR コード決済がもっと普及すると便利だと思います。都会に住んでいる若者も気軽に来やすくなると思います（女、20 歳代、関東）。
- ・ これからも自然をそのままに、島全体が元気に残っている事を願います。とても素晴らしい時間を過ごせました。闘牛の牛の様子を見られたら良いと思う（女、30 歳代、関東）。
- ・ 金作原ツアーに参加した時にガイド無しで入ってきた人がいました。規制を設けるならば、警備員等を配置するべきだと感じました。奄美群島は、豊かな自然や文化に恵まれているので、多くの観光客はそれを目的に訪れていると思います。それらの場所に地元の方を雇用する事によって、より持続可能な仕組みになるのではないのでしょうか。ぜひ地域が潤うようになって欲しいです（女、30 歳代、関東）。
- ・ 短い滞在期間だと奄美の良さを満喫しきれないと思います。島内が広いので移動に時間がかかる事もあり、滞在日数のある程度確保出来ないと感じました（女、30 歳代、関東）。
- ・ 野生動物の保護の取り組みが素晴らしいと思いました！あと、サンゴを守る日焼け止めを奄美大島のコラ商品にしたりとか、これを買うと森の保護に繋がるとか、そういった商品があればぜひ買いたかったです（女、30 歳代、関東）。
- ・ 県外の人にとって、奄美大島はその存在を知ってはいるが、訪れるという動機を持つ人は少なく感じる。何があるのか、何ができるのかという魅力が伝わっていないからだと考える。温暖な気候の中ゆっくりと流れる時間や、人懐っこい地元の方との交流は、奄美大島の観光の魅力と感じる。発信する魅力を明確にして、観光のコンテンツを充実させ、しっかり情報発信することで、訪れてみたいという動機づけを働きかけていくことが必要と考える。また今回、請島を訪れたが、ネット環境が不安定でその点が不便であった。自然のことなので仕方がないが、フェリーが欠航しやすく、訪れるハードルが高く感じる（女、30 歳代、関東）。
- ・ 居住や建物、インフラ等は景観になじむ素材・デザインを意識する事で、奄美の魅力が更に地域として高まると感じました。コスタリカのエコツーリズムを思い出しました。素晴らしい自然こそ奄美の価値です。保全に努めて頂いている島の皆様に感謝です（女、40 歳代、関東）。
- ・ 海が綺麗でした。でも雨が降ってゴミもありました。一番嬉しかったのは、ウミガメに会えたことです。ゴミを無くしたいので、私達も保全活動を手伝ってみたいです。ゴミを無くしたら、泳いでいる魚も気分が良くなると思います。魚やウミガメがゴミを食べてしまわないようにしたいです（女、40 歳代、関東）。
- ・ 地元企業、住民にお金が落ちる体制、システムの構築をして欲しい（女、40 歳代、関東）。
- ・ 観光スポットに行く看板が途中無い所があり、分かりづらかった。ナビやグーグルマップを使用しなくても分かりやすい看板があると尚良い（女、40 歳代、関東）。
- ・ 観光したいと思ってもバスが少なすぎる、レンタカーは少ない。飛行機の時間に合わせた観光バスがあると利用しやすい（そのまま空港へ行ける）（女、40 歳代、関東）。

○具体的な意見（続き）

- ・昔に比べると観光にも力を入れてきていると思います。SNS やネットで発信する事が一番良いのかなと思います。奄美が大好きなので、もっと奄美が大好きな人が増えたら嬉しく思います（女、40 歳代、関東）。
- ・どこで遊んでよいのか分かりにくい（女、40 歳代、関東）。
- ・4 日間お世話になりました。徳之島を訪れたのは 20 年前に 2 回、3 年前、そして今回です。以前に比べて道路が整備されていて良かったです。個人的に徳之島は今のままが良いです。豊かな自然と青い海、美味しい島料理、これで充分です。ただ、運賃の安い羽田からの直行便があればもっと身近になると思います。8 月のお盆時期にしかまとまった休暇が取れないのですが、飛行機代が大人 2 人で 20 万円です。この額では旅行の計画を立てるのに勇気が必要です（女、40 歳代、関東）。
- ・観光地への標識が分かりづらかったので、改善されると良いと思いました（女、40 歳代、関東）。
- ・東京や大阪からの直行便の値段がもっと安ければ気軽にもっと来られると思います。海は沖縄より綺麗だと思いました（女、50 歳代、関東）。
- ・観光事業が大事なのは分かるが、観光客がルールを守らず、せっかくの自然が維持出来ず台無しになってしまうのは避けたい。観光客には利用ルールを徹底するよう周知して欲しい。私は不便な面と自然の豊かさは比例していると思う。この豊かな海と山の自然をいつまでも残して欲しい（女、50 歳代、関東）。
- ・観光事業の発展と住民の生活の安定、自然との調和のバランスを考慮した島の発展を進めて欲しいと思います（女、50 歳代、関東）。
- ・今の沖縄の様にならない事を望みます。沖縄の景観が嫌で奄美群島に来る人は多いと思います（女、50 歳代、関東）。
- ・奄美固有の文化、産業を残していく為に何が出来るのか真剣に考えたい。頑張れ、奄美。でも沖縄みたいな都会化には反対。文化的な良さが消える（女、50 歳代、関東）。
- ・川や海が泥水で汚れている様に思えた。環境の整備が必要ではないかと思う（女、50 歳代、関東）。
- ・古いホテルなどはリノベーションなどをしてもっとキレイになると良い（女、50 歳代、関東）。
- ・旅行中、シュノーケリングをすることが多く、主に海水浴場を利用しています。トイレ、シャワー、更衣室はあるのですが、古くて朽ちかけていたり、清潔ではなかったりする所が多いと思います（国直海岸は良く管理して下さっていると思いました）。綺麗で明るい設備になると良いです（女、60 歳代、関東）。
- ・沖永良部に多く来させてもらっています。島には島の生活の大変さがあると思いつつもその大きな自然と人情にいつも心が癒され、島に来ると自分の人間性を取り戻したような思いがします。夫婦で共に 30 年、50 年とこの海で遊ばせてもらう中で感じることは、以前に比べて生物が本当に少なくなったということです。見えるところ（陸上）をきれいに整備すれば、そのツケは見えないところ（海中等）に確実に回っていると感じます。陸を見栄え良くコンクリートで固め便利さを追求すれば、その影響として海水の流れを変え、生物の住環境を変え…上から見たら以前と同じように見える海も、中は大きく変化していると思います。以前はいたヒトデもウニも貝類も全く見なくなりました。私の知る奄美の海はほんの少しですが、中でも住吉リーフの中は今は色の無い何もいない海となりました。島の発展を願いつつ、どうか自然界との共存共栄を祈るばかりです。自然を守るからこそ島の本当の発展なのではと思うところです（女、60 歳代、関東）。
- ・観光施設があまりにも少ないと思う。もっと充実させて欲しい（女、60 歳代、関東）。
- ・宮古島のように、どんどん自然を削りホテル開発等をしたくないで欲しい。とにかく、素朴で美しいこのままの奄美の姿でいて欲しい。そこが魅力で毎年来ています（女、60 歳代、関東）。
- ・古い施設（ホテルや観光地など）が多い為、リノベーションなどを行い、ホテル滞在中も快適だと思う（20 歳代、関東）。
- ・知人の勧めで訪れたが、十分満喫する事が出来ました。もっと時間があれば、周辺の島々も巡ることが出来たのに残念です。是非、また訪れたいと思います。

参考資料

アンケート調査票

3 来訪者用

あなたのことについて

※ 次にお聞きする3つのことは、調査結果の集計上必要なことですので、必ずお答えください。

F1 あなたの性別は

- 1 男 2 女 3 回答しない

F1

F2 あなたの年齢は（令和4年6月1日現在）

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代
4 40歳代 5 50歳代 6 60歳代
7 70歳代以上

F2

F3 あなたの職業は

- 1 農業
2 林業
3 漁業
4 建設業
5 製造業
6 情報通信業
7 運輸業、郵便業
8 卸売・小売業
9 宿泊業
10 飲食店サービス業
11 医療・福祉
12 上記以外のサービス業
13 公務員
14 主婦
15 学生
16 無職
17 その他（ ）

F3

A 奄美群島への訪問目的について

問1 どちらから来られましたか。

- 1 鹿児島県内（奄美群島外） 2 鹿児島県内（奄美群島内）
3 沖縄県 4 九州（鹿児島県を除く）
5 中国・四国 6 近畿
7 中部 8 関東
9 東北・北海道 10 国外

問1

【来訪者用】

問 2 どなたと来られましたか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 一人 | 2 家族 |
| 3 友人 | 4 ツアー |
| 5 職場の同僚等 | 6 その他 () |

問 2

問 3 これまで、奄美群島を訪れたことが何回くらいありますか。

- 1 今回が初めて
- 2 3回以内
- 3 4回以上

問 3

問 4 今回は、奄美群島に何日間滞在されますか。

- | | |
|---------|-------|
| 1 日帰り | 2 2日間 |
| 3 3日間 | 4 4日間 |
| 5 5日間以上 | |

問 4

問 5 奄美群島を訪れた主な目的は何ですか。(次の中から1つ選んでください。)

- | | | |
|----------------|-----------------|---------|
| 1 観光 | → 問 6, 7, 8, 9へ | |
| 2 出張 | | |
| 3 ワークেশョン | | |
| 4 帰省 | | |
| 5 スポーツ (試合・合宿) | | → 問 10へ |
| 6 定住の下調べ | | |
| 7 学術研究 | | |
| 8 その他 () | | |

問 5

【問 6, 7, 8, 9は、問 5で1と答えられた方にお聞きます。その他の方は問 10へお進みください。】

問 6 観光の主な目的は何ですか。(次の中から1つ選んでください。)

- 1 名所・旧跡
- 2 文化・伝統芸能
- 3 世界自然遺産地域周辺や奄美群島国立公園など自然の散策等
- 4 イベント・行事
- 5 島めぐり (奄美群島の島々を巡る旅)
- 6 釣り
- 7 海や川での体験 (ダイビング、カヌー、クルージング、サーフィン、ホエールウォッチング等)
- 8 農林漁業体験
- 9 スポーツ
- 10 タラソセラピー (海洋療法)
- 11 奄美群島の郷土料理
- 12 リゾートホテル等の宿泊施設
- 13 何もしない (都会にはないゆったりとした時間を過ごす)
- 14 その他 ()

問 6

【来訪者用】

問7 今回奄美群島への旅行を決めたきっかけとなった情報は何ですか。(複数回答可)

- 1 テレビ
- 2 雑誌の特集
- 3 SNS(Facebook などソーシャル・ネットワーキング・サービス)、動画、HP 等
- 4 広告(Web, 駅・空港等)
- 5 口コミ(友人・知人の紹介)
- 6 物産展等のイベント, アンテナショップ, 郷土料理店
- 7 修学旅行で行ったことがあったから
- 8 もとからのルーツが奄美だったから
- 9 その他 ()

問 7

問8 奄美群島への旅行を決めた後, 宿泊施設, 飲食店, 観光スポット等についてどのように情報収集しましたか。(次の中から3つ選んでください。)

- 1 市町村, 観光協会の HP
- 2 インターネットの 口コミ サイト
- 3 SNS(Facebook などソーシャル・ネットワーキング・サービス), 動画等
- 4 旅行会社等のパンフレット
- 5 口コミ(友人・知人の紹介)
- 6 観光ガイドブック, 市町村観光パンフレット
- 7 居住地にある奄美(鹿児島)の郷土料理店
- 8 その他 ()

問 8

問9 観光の振興について

(1) ハード整備

今後, 何に力を入れたら良いと思いますか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 地域の自然や産業を生かした観光地の整備(駐車場, 休憩所, トイレ等の整備を含む)や観光地周辺の景観整備
- 2 大規模リゾート施設(カジノやビーチ・リゾート等)の整備
- 3 旅館・ホテルの整備・改修
- 4 空き家などを利用した民泊施設の整備
- 5 観光案内所・観光案内標識等の整備・充実(多言語案内も含む)
- 6 観光施設(お土産屋, レストラン, カフェ等)の整備・充実
- 7 観光地におけるバリアフリー化
- 8 伝統文化に触れる機会の提供や施設の整備・充実(文化財の保護等も含む)
- 9 自然に触れる機会の提供や施設の整備・充実(国立公園の施設整備など)
- 10 クルージングに必要な港湾施設の整備
- 11 無料公衆無線 LAN (Wi-Fi) 環境の整備
- 12 その他 ()
- 13 わからない

問 9(1)

【来訪者用】

(2) ソフト施策

今後、何に力を入れたら良いと思いますか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 観光の情報発信・PRの充実・強化
- 2 航空機等交通・アクセス等の改善(時間短縮・料金値下げなど)
- 3 島内の交通アクセス(バス・タクシー・レンタカー)の充実
- 4 本土と奄美群島内外の島々において新幹線、航空機や船などを組み合わせた旅行商品づくり
- 5 まち歩きや地元の文化体験などの体験プログラムの開発・商品化
- 6 農林漁業体験などのグリーン/ブルーツーリズム※の推進
- 7 ガイド同伴によるエコツアー(奄美固有の動植物の観察、海や川での体験)
- 8 タラソテラピー(海洋療法)、奄美の長寿に着目した健康・保養型観光、長期滞在型観光の推進
- 9 観光客の受入体制の整備・充実(地域通訳案内士の育成、外貨両替、クレジットカード利用への対応等)
- 10 ホテル経営者・従業員や観光エコツアーガイドなど、観光関連業者の人材育成
- 11 集客力の高いスポーツイベントや芸能イベント等の開催
- 12 スポーツ合宿やキャンプ等の誘致や施設の充実
- 13 修学旅行の誘致
- 14 クルーズ船の誘致
- 15 登山道や歩道のルート設定
- 16 物産振興施策の充実(新商品開発、ネット販売等の販路拡大、伝統文化の活用など)
- 17 国内外の多様なニーズを把握するためのマーケティング
- 18 地域内の多様な関係者(観光産業、農林水産業、商工業、行政、NPO)との連携、ネットワークづくり
- 19 その他()
- 20 わからない

問9(2)

※ グリーン/ブルーツーリズム・・・都市住民が農山漁村に滞在しながら、その地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ余暇活動

【以下、すべての方にお聞きます。】

問10 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島は国際的にも希少な固有種の生息・生息地となっています。このように生物多様性を保全していく上で重要な地域であることがこの4地域の世界遺産としての価値となっています。あなたはこのことについてご存知でしたか。(次の中から1つ選んでください。)

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問10

問11 奄美群島に来訪する前に、島内の観光地や集落周辺における利用ルールやマナーについて調べましたか。(次の中から1つ選んでください。)

- 1 調べた
- 2 調べなかった

問11

【来訪者用】

B 奄美群島の魅力について

問 16 あなたにとって奄美群島の魅力は何ですか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 豊かな自然に恵まれていること
- 2 一年を通じて温暖であること
- 3 都会の雑踏を離れられること
- 4 奄美群島固有の文化や伝統芸能
- 5 特産物や郷土料理
- 6 手軽にスポーツやレジャーが楽しめること
- 7 人情味あふれる心の豊かさ
- 8 その他()
- 9 特に意識していない
- 10 わからない

問 16

問 17 島外の多くの人に島の魅力を知ってもらうために必要なことは何ですか。(次の中から2つ選んでください。)

- 1 インターネット、SNS(Facebook などソーシャル・ネットワーキング・サービス)、動画等による島外への情報発信を活発にすること
- 2 イベント開催による群島内外との交流を活発にすること
- 3 島内外の交通を便利にすること
- 4 島の魅力を満喫できる観光施設や宿泊施設を整備すること
- 5 伝統文化に触れる機会の提供や施設を整備すること
- 6 温暖な気候や豊かな自然など島の特性を生かした地域産業を盛んにすること
- 7 豊かな自然に触れる機会を提供すること
- 8 島外の人に温かく接すること
- 9 その他()
- 10 わからない

問 17

C 奄美群島で暮らすことについて

問 18 あなたは、奄美群島で暮らしてみたいと思われませんか。(次の中から1つ選んでください。)

- 1 体験的に暮らしてみたい
- 2 定住しても良い
- 3 是非定住したい
- 4 仕事を辞めた後には定住したい
- 5 暮らすのではなく別荘などを持ちたい(=地域居住をしたい)
- 6 自分は無理だが、子供に体験的に一定期間の暮らしをさせてみたい
- 7 暮らしたいとは思わない
- 8 その他()

問 18

--

【来訪者用】

奄美群島振興開発事業の概要

【これまでの経緯】

奄美群島においては、昭和28年に日本へ復帰して以来、数次の法改正に基づいて、各般にわたる事業が実施され、交通基盤、産業基盤、生活環境などの社会資本の整備が着実に進むなど相応の成果をあげてきている。

しかし、本上から遠隔の外海離島という地理的条件、台風常襲地帯であるなどの厳しい自然条件下にあり、本土との間には、所得水準や物価をはじめとする経済面の諸格差が依然として存在し、人口減少や高齢化の進展など、いまだ解決されない課題が残されている。

一方、平成26年4月の奄振法の延長に伴い、運賃の低廉化や輸送コスト支援などの条件不利性の改善や産業の振興のために地域の裁量に基づく施策の展開を促進する奄美群島振興交付金が創設され、ソフト施策を主体とした取組が進められてきたところである。

奄美群島は、亜熱帯・海洋性の豊かな自然、世界的にも貴重な動植物、個性的な伝統文化などを有しており、今後、世界自然遺産登録の効果を生かして、大きく発展する可能性を秘めている。

現行計画(R元-R6)のもと、奄美群島の自立的発展を目指し、国、県、地元市町村等が一体となってハード・ソフトの両面から、効率的・効果的な施策の展開に努めている。

- 昭和20年 終戦
- 昭和21年 日本から行政分離され、約8年米国軍政下に統治される
- 昭和28年 日本に返還され、鹿児島県の行政管理下に編入される
- 昭和29年 奄美群島復興特別措置法を制定
- 昭和39年 奄美群島振興特別措置法と改称
- 昭和49年 奄美群島振興開発特別措置法と改称（以下数次の法改正）
- 平成26年 奄美群島振興開発特別措置法の一部改正
（奄美群島振興交付金の創設）
- 令和元年 奄美群島振興開発特別措置法の一部改正
（有効期限を令和5年度末まで5か年延長）

振興開発事業計画	主な事業（令和元年度～令和5年度見込み）
1 定住を促進するための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・農業基盤整備や付加価値の高い生産、販売、流通に向けた取組 ・情報通信技術の高度化や多様化に対応できる人材育成の取組 ・特産品販路拡大促進、人材育成、企業誘致
2 世界自然遺産登録などを生かした交流拡大のための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・世界自然遺産登録に向けた取組 ・自然環境の保全と利用の両立を図るための取組 ・群島内外との交流の促進 ・沖縄県との連携による移動コストの軽減や共同イベントの開催
3 滞在型・着地型観光を促進するための方策	<ul style="list-style-type: none"> ・奄美の島唄・島口の伝承に係る取組 ・観光施設等の受入体制の整備 ・観光交通体系の整備
4 奄美群島が抱える条件不利性の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・航空運賃及び航路運賃、農林水産物等の輸送コストの軽減 ・国の支援制度による離島のガソリン価格の引き下げ ・交通基盤の整備（港湾・空港施設、道路の整備や老朽化対策の推進）
5 奄美群島の生活基盤の確保・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・奄美ドクターヘリなど、保健医療体制の整備 ・ハブ駆除対策、ハブ咬傷対策 ・学校教育、生涯学習の充実 ・水道、生活排水処理施設などの生活環境の整備
6 地域主体の取組の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・営農ハウス・平張り施設や共同利用機械の整備 ・奄美群島エコツーリズムの推進や観光物産広域連携の取組 ・希少野生動植物の保護、外来生物の駆除

【来訪者用】